

会社案内



コンクリートテクノロジーの未来をみつめて

沖縄テクノグROUT株式会社



ご挨拶

代表取締役社長
仲本幸文

平素は格別のお引立てを賜り誠に有り難うございます。

弊社は(旧)沖縄ヒューム管工業所として、昭和27年に郷土復興の一翼を担うべく、県内初の遠心力応用コンクリート二次製品メーカーとして創立されました。

爾来六十余年、ポール、パイル、プレキャスト部材を中心とし、電力、通信、建築、土木等の分野での製品発展により、郷土沖縄の都市空間創造のために尽力して参りました。

平成4年には、多様化するお客様のニーズに迅速に対応できる体制を確立すべく中城湾新港地区(沖縄市海邦町)に工場を新設移転いたしました。

現在ではPHCパイル・高強度PHCパイル・CPRCパイル・PCポール・カラーポール・電線共同溝・テールアルメ工法・PCW工法など総合コンクリート製品メーカーとしてあらゆる分野での製品のご提供、技術のご提供ができるものと自負しております。

弊社は創立以来、新製品技術の開発発展に全力を傾注して参りました。復帰前には工業開発への多大な努力が認められ、オグレスピー工業功労賞を受賞し、昭和47年の日本復帰に際しては県内業界初のJIS表示許可を受けることができました。

また、平成12年10月には上記分野に於いて九州沖縄の地場企業として業界初のISO9001を取得することができましたことは、常にお客様に最新最高の技術・製品と品質保証のご提供をモットーに歩んで参りました弊社の誇りとするところであります。

社員の育成についても、業務を通しての自己実現の達成により、地域社会の発展への寄与に貢献したいと考えております。

弊社は、今後とも多様化し変化する社会的技術的ニーズに、積極的にお応えする事が最大の社会的使命であると自覚し、社員一丸となって全力を尽くして参ります。沖縄県の社会インフラの更なる発展のため、お客様から信頼され、選ばれる企業を目指して参ります。

一層のご指導ご鞭撻、ご愛顧のほどを衷心よりお願い申し上げます。



海邦工場全景



品質システム規格 ISO 9001(2008)
登録番号 3787

登録された品質システム

- (1) コンクリートポール・コンクリートパイルの設計・開発、製造及びびくい工事
- (2) コンクリート二次製品の設計・開発及び製造



TC 09 07 004
日本工業規格適合性認証書
JIS A 5373:プレキャストプレストレストコンクリート製品

経営理念
企業は公器であるとの認識のもとに
社会のニーズに応える高品質の製品を安定的に供給し
もって社業の発展をはかる
社に係わる全ての人々が社業を通して自己実現をはかり
成長発展をとげることが出来るようにする

会社概要

- 会社名称 沖縄テクノクリート株式会社
- 本社 〒900-0003
沖縄県那覇市字安謝620番地
TEL.098-868-2522
FAX.098-863-1925
- 海邦工場 〒904-2162
沖縄県沖縄市海邦町3番地1
TEL.098-934-5512
FAX.098-934-6647
- 海邦工場生産能力
月産:5,000ton
敷地面積:33,074m²
- 役員 代表取締役社長 仲本幸文
専務取締役 仲本幸平
常務取締役 野原肇
常務取締役工場長 太田幸夫
取締役営業部長 平安淑人
顧問 真栄城嘉訓
- 創立年月日 昭和27年5月
平成9年4月1日 社名及び組織変更
- 資本金 42,000,000円
- 主要営業品目
(1)PHCパイプ、PHC105パイプ
(2)CPRCパイプ、CPRC105パイプ
(3)節杭
(4)STBパイプ
(5)PCポール、ハイポール
(6)テールアルメ工法
(7)C.C.BOX
(8)その他土木、建築用プレキャスト製品
(9)上記に関する施工全般
- 免許 (一般建設業許可)
沖縄県知事 許可(般-27)第4257号
- 認証 ISO 9001(2008)
JIS A 5373 プレキャストプレストレスト
コンクリート製品

会社沿革

- 昭和27年5月 沖縄ヒューム管工業所創立
- 昭和31年8月 コンクリートパイプ、ポール生産開始
- 昭和43年12月 琉球工業連合会よりオグレスビー工業功労賞授与される
- 昭和47年10月 沖縄県の本土復帰後業界初のJIS表示許可(コンクリートポール)
- 昭和47年12月 日本コンクリート工業株式会社と技術提携
- 昭和49年10月 NTT九州電気通信局納入指定工場となる
- 昭和51年7月 沖縄電力株式会社納入指定工場となる
- 昭和63年3月 日本テールアルメ協会認定工場となる
- 平成2年11月 沖縄総合事務局より工業標準化向上貢献賞受賞
- 平成3年 9月 沖縄県沖縄市中城湾港新港地区工業用地へ工場建設着工
- 平成4年 5月 海邦工場竣工
- 平成4年 7月 遠心力鉄筋コンクリートポールJIS表示許可(海邦工場)、高強度プレストレストコンクリートくいJIS表示許可(海邦工場)
- 平成6年 1月 斜面安定協会認定工場となる
- 平成6年10月 工業標準化実施優良工場として沖縄総合事務局賞受賞
- 平成7年 4月 高強度コンクリートパイプ(PHCパイプ)評価取得(社団法人コンクリートパイプ建設技術協会)
- 平成7年12月 高強度コンクリートパイプ(STBパイプ)評価取得(社団法人コンクリートパイプ建設技術協会)
- 平成9年 1月 高強度大径コンクリートパイプJIS取得
- 平成9年 3月 高強度大径コンクリートパイプ評価取得(財団法人日本建築センター)
- 平成9年 4月 沖縄テクノクリート株式会社へ社名変更(社名並びに組織の変更)
- 平成12年10月 ISO 9001 認証取得
- 平成19年 6月 新JIS認証取得(プレキャストプレストレストコンクリート製品)
- 平成20年 2月 超高強度コンクリートパイプ(ONA105パイプ)評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成21年12月 無熔接継手ペアリング・ジョイント評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成22年 2月 無熔接継手トリプルプレートジョイント評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成23年12月 HiDuc-CPRCパイプ、HiDuc-CPRC105パイプ評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成23年12月 HiDuc-CPRCパイプ(φ300~φ600mm) 評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成23年12月 HiDuc-CPRC105パイプ(φ300~φ600mm) 評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成27年 5月 HiDuc-CPRCパイプ(φ700・φ800mm) 追加評定取得(一般財団法人 日本建築センター)
- 平成27年 5月 HiDuc-CPRC105パイプ(φ700・φ800mm) 追加評定取得(一般財団法人 日本建築センター)

PCポール

ハイブリッドデザインポール

送配電用柱から防球ネット柱、照明柱まで

- 電力送配電用ポール
- カラーポール
- NTT共架用ポール
- 防災無線用ポール
- 特殊L型柱、測溝柱
- カラーポール
- 照明用ポール(グラウンド、公園等)
- ハイポール
- 防球ネットポール(ゴルフ練習所、バッティングセンター)
- ※その他の用途、設計にも応じます。



▲電力・通信線用ポール



▲カラーポール



▼照明用ポール



▼防球ネットポール

コンクリートパイル及び各種工法

土木、建築全般に亘る基礎部材及び工法

コンクリートパイル製品

- PHCパイル ONA・Hi-ONA・ONA105 (評定杭)
- HiDuc-CPRCパイル (評定杭)
- HiDuc-CPRC 105パイル (評定杭)
- PHC大径パイル (評定杭)
- STBパイル (先端拡底杭)
- HF-ONAパイル (節付き杭)

コンクリートパイルは、当社工場の管理基準に基づいて製造しており、製品品質に均一性があり杭径は300φ~800φまで供給できます。
杭施工法については、従来工法の打撃工法や施工時に発生する騒音が機械音程度で振動については重機の移動の際の揺れ程度の無振動・無騒音工法であるプレボーリング系埋め込み工法や中掘系埋め込み工法にも対応しています。

杭施工法

■プレボーリング系

*Hyper-ストレート工法 (拡大根固め工法)

全掘削工程が同径のストレート掘削工法で、高支持力を得るための専用下杭を使わず標準の既製コンクリート杭を使用するシンプルなプレボーリング系高支持力工法です。

*Hyper-MEGA工法 (拡大根固め工法)

節杭を下杭に使用し、根固め径を変えることや杭の構成を変えることで様々な条件に対応したプレボーリング系高支持力工法です。

■中掘系

*中掘工法 (打撃・根固め工法)

杭中空部に挿入したオーガスクリーパーにて先端地盤を掘削し、杭上端部より土砂を搬出しながら杭の掘削沈設を繰り返し所定の深度まで達したら杭頭部に打撃を与えて支持力の発現を行う工法と、オーガー先端部より根固め液を注入して支持層との一体化を図って支持力を発現させる工法と2種類があります。

■無溶接継手工法

無溶接継手は、溶接継ぎ手と同等の性能を有していて、気象条件 (雨・風等) の影響を受けにくく火気厳禁の場所での施工もでき施工時間も短く接続プレート等すべての部品は工場製品を使用するので品質の信頼性が高い継ぎ手工法です。

*T・PJ工法 (トリプルプレートジョイント)

杭材の端部金具を接続プレートで挟み込みその後、接続ボルトを締め付け杭材を固定する工法です。

*PJ工法 (ペアリングジョイント)

テーパ構造を持った内側と外側のリングでコンクリートパイルの端板を油圧ジャッキを使用して挟み込み杭材を固定する工法です。



▲節杭施工例



▲Hyper-ストレート工法施工例



▲中掘工法施工例

テールアルメ工法

●テールアルメ工法

JFE商事 株式会社 提携

自然と調和し、より美しい環境を造成するテールアルメ工法

フランスのH.Vidal氏により考案されたテールアルメ工法。(垂直補強土工法)

県内でも壁面積64,000㎡以上の実績を誇ります。



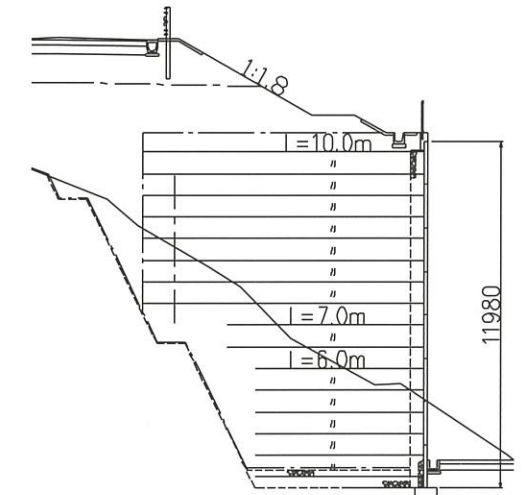
▲二段テールアルメ (造成)



▲デザインタイプ



▲道路築造



▲標準断面

●スーパーテールアルメ工法

経済性・施工性に優れた新工法です。標準で高さ1.2m×幅2.7mのコンクリートパネル (標準) を使用します。



通信タイプ

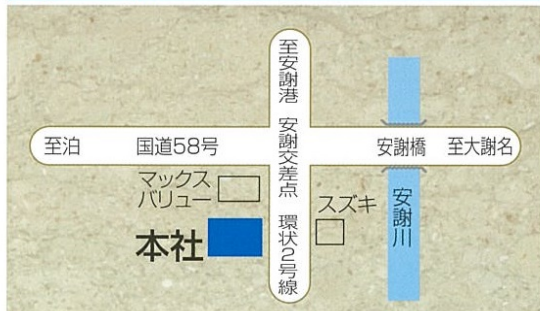


電力U型タイプ



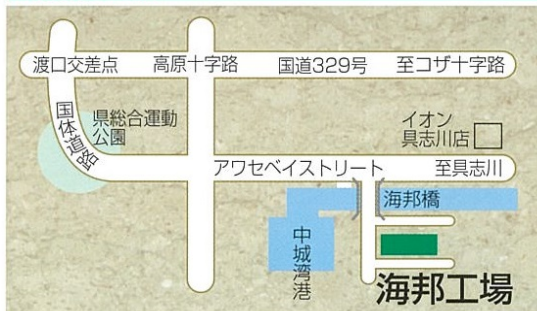
電力BOXタイプ

本 社



〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地
 TEL. (098) 868-2522
 FAX. (098) 863-1925

海邦工場



〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1
 TEL. (098) 934-5512
 FAX. (098) 934-6647